

TOPICS 113

このコーナーでは
群馬県信用組合と地
域(季節)の話題を
お届けします

県内対抗野球 高瀬チームが2年連続優勝 当組合職員が大活躍!!

軟式野球の第68回県内対抗大会(県野球連盟、上毛新聞社主催)の準決勝と決勝が令和4年10月30日(日)に前橋市の上毛新聞敷島球場で行われ、当組合職員の所属する高瀬チーム(富岡市)が大間々町第13区チーム(みどり市)を4対0で下し、2年連続4度目の優勝を果たしました。



高瀬チームでは、営業推進部の茂木善幸主任調査役が監督を務め、同部の土筆昭久副部長が主力投手として活躍しています。

ハナミズキ通り商店会による 献血活動へ参加

ハナミズキ通り商店会(高崎市)が主催する献血活動が令和4年11月17日(木)に当組合高崎支店の駐車場を会場に実施され、当組合職員と多くの地元の方々に参加しました。同活動は、新型コロナウイルス感染症の影響で献血バスの派遣中止、延期が相次ぐ中「地域に貢献したい」との思いによりハナミズキ通り商店会の皆さまが一昨年からの実施している活動で、今回で第3回目となりました。



高崎支店長の平本(後列左)とハナミズキ商店会、日本赤十字社の皆さま

障害者自立支援センターで 育てられた花を支店花壇へ

高崎市吉井障害者自立支援センター「こはぎ」では、花苗や鉢花を年間で約20種類ほど育て、販売しています。今回、同施設のパンジーなど10種類の花100株を当組合高崎貝沢支店の店周花壇や入り口のプランターに植えさせて頂きました。色とりどりの花が明るくお客さまをお迎えすることはもちろん、職員の気持ちも明るくなり、より良い店舗づくりに一役買っています。



高崎貝沢支店に植えられたパンジー

農大二高で 特別授業の講師に

東京農業大学第二高等学校では「物事の背景を主体的に学ぶ」総合学習として企業や行政が抱える課題について生徒がグループで解決策を考案・プレゼンする「Nouni Innovation Award」(NIA)を運営しています。

卒業生が関係する企業や行政に講師を依頼しており、同校OBの当組合板鼻支店佐藤支店長に要請がありました。

今期のNIAでは企業、行政16団体が協力。当組合は、「群馬県信用組合のイメージアップ・知名度向上」Z世代の取引を増やすためには「」をテーマに、総合企画部原田課長、人事部中村職員を講師に派遣し50名の生徒に特別授業を実施しました。



授業では信用組合と銀行の違いや、信用組合の経営理念・営業活動・地域貢献活動など説明したのちに、信用組合の課題である「若年層の取引が少なく認知度が低い」状況を説明。その解決策として「若年層の取引増加」と「知名度・イメージアップ」について効果的なアプローチ方法や、認知度を高めるイメージ戦略を高校生視点で考えてもらいました。

Z世代

最近良く耳にする「Z世代」。どんな世代を表すのでしょうか? 「若い世代」というのはわかりますね。そこで「Z世代」の特徴を調べてみました。

- ①Webメディアでの情報収集が当たり前
- ②SDGsなどの環境問題・社会問題への関心が強い
- ③ブランド品にこだわりのない
- ④などです。

けっこう堅実ですね。

ピーターパンカードによる 寄付活動



こちら学校前食堂の堀越代表と寄付金を贈呈する石原常務理事(左)

地域の子どもたちの胃と心をサポートする事業を行っている「合同会社こちら学校前食堂」(高崎市)を応援するため「しんくみピーターパンカード」による寄付金10万円を贈呈しました。寄付金は店舗の設備や運営に活用して頂きました。

「しんくみピーターパンカード」とは、すべての子どもたちとその家族のこころと身体の健全な育成を支援するクレジットカードで、ショッピングすると、ご利用額の0.5%が信用組合とオリコから寄付されるようになっていきます。

下仁田町一周駅伝 当組合野球部が参加

令和5年1月15日(日)に開催された「第59回下仁田町一周駅伝競走大会」に当組合野球部員が参加しました。新型コロナウイルスによる影響で3年ぶりの開催でしたが、30・5キロの計7区間を16チームが参加しタスキをつなぎました。高崎貝沢支店中村職員は同大会に通算5回出場しており大会側から表彰状をいただきました。



表彰状と盾を掲げる中村職員

編集後記

今回の特集は「秋間梅林」です。秋間は私の出身地で、2〜3月の梅の花の真っ盛りのこの時期に広報誌の作成に携わり、地元をPRする機会ができたことは大変ありがたい経験となりました。

取材にご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました。

私が子どもの頃の「梅まつり」は、地元のおばちゃん達が売店を手伝い、子どもたちは八木節を踊り、鬼ごっこをして梅林を走り回っていました。

そんな秋間梅林が、新しい姿に生まれ変わっています。地元の方や地域おこし協力隊の熱い思いを聞いて、そこには人と人とのつながりがあり、応援してくれる人の温かさがあることを感じました。

子どもの頃にはわからなかったこの地域の良さを、今度は子どもたちに伝えていきたいと思っています。(H)



「shin」へのご要望は、当組合のホームページから直接アンケートに答え、投稿することができるようになりました。右QRコードをご利用ください。

※写真を送っていただいた場合は返却できませんので予めご了承ください。

※ご記入いただいた個人情報はこの企画の目的以外には使用いたしません。

〒370-2343
富岡市七日市871-1
群馬県信用組合総合企画部

みなさまからの情報をお待ちしております。

オススメスポットや気になるお店、お子さまやペットの自慢、仲間募集や相談事、shinの感想など...なんでもOK! 情報をお寄せください。

Q1. 広報誌「shin」はどこで手に入れましたか?
・営業担当者から ・支店窓口で(ATMコーナー含む) ・信組職員から ・その他()

Q2. 性別・年代を教えてください(☑)
男性 女性
~10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代~

面白かったページや、今後取り上げて欲しいテーマや取材して欲しいお店がありましたら下記スペースにお書きください。Shih 広場で紹介します。

山折り

[応募方法]原稿は各支店窓口の投稿箱(切手不要)に入れていただくか、ハガキとして利用する場合は、貼り合わせて切手を貼ってポストに投函してください。なお、当組合ホームページからでも投稿できます。14頁QRコードからお入りください。

郵便はがき

370-2343

63円切手を貼って投函してください

富岡市七日市871-1
群馬県信用組合
総合企画部
shin 編集部 行

お名前	
ご住所	〒
ご連絡先	

この部分をハガキとして利用する場合は切り取り線で切り離し、中央を山折りして貼り合わせ切手を貼って投函してください。

裏側を貼り合わせる

中央を山折り